

1. 令和7年度事業結果概要

琵琶湖漁業の振興を図るため、漁業基盤であるニゴロブナ、ホンモロコ、アユといった重要水産資源について、琵琶湖栽培漁業センター（山田筏種苗生産施設を含む）、琵琶湖周辺の水田および人工河川を活用して種苗生産、中間育成、放流を実施し、水産資源の増殖と漁業経営の安定に努めた。

ニゴロブナとホンモロコは事業計画どおり事業を進め、計画量の放流を達成した。近年はニゴロブナ・ホンモロコともに資源量の増加傾向が見られており、漁獲も安定している。

また、アユについては、当初計画に加え追加放流が実施され、合計約22トンの親魚を放流し、計画を上回る仔アユを琵琶湖へ放流することが出来た。この人工河川の運用にあたっては最近の気候変動による温暖化傾向を考慮し、アユ仔魚の流下時期を遅らせる運用を行った。アユについては、近年漁獲状況が不安定化しているが、令和7年秋季の天然の産卵量は約41億粒と平年の62%あり、追加放流が行われた人工河川から50億尾の仔アユが琵琶湖へ放流された状況のもと令和7年12月の早期エリ漁は、アユ仔魚の流下を遅らせる措置の効果があったのか、令和6年12月のような不漁にはならなかった。アユについては漁獲状況を注視し、人工河川の運用についても今後さらに検討する必要がある。

(1) ニゴロブナ増殖事業

ニゴロブナ資源の回復を図るため、以下を行った。

1. ふ化仔 23,291 千尾を5月から6月にかけて琵琶湖周辺の水田 583 反に放養し、約1ヶ月後の中干し時に平均全長 25.4mm に成長した稚魚 10,108 千尾を琵琶湖へ流下させた。(国交付金、県補助事業)
2. 体重 21.7g の大型種苗 863 千尾を栽培漁業センターおよび草津市北山田地先筏施設で生産し、10月から12月にかけて琵琶湖全域に放流した。(国交付金、県補助事業)
3. 体重 15.0g の大型種苗 100 千尾を滋賀県漁業協同組合連合会より購入し、10月に琵琶湖北湖に放流した。(独自事業、一部寄付金充当)
4. 放流の効果を把握するため、種苗の一部に ALC 標識を付け放流した。2月から4月に漁獲魚の標識調査を行った。(国交付金、県補助事業)
5. 各種団体の放流用種苗 1,184 千尾を生産した。(独自事業)
6. 水産試験場の試験研究のため、3種類の標識を付けた 20mm 種苗をそれぞれ、198.3 千尾を守山市赤野井地先に、227.3 千尾を近江八幡市牧地先に、206.1 千尾を長浜市延勝寺地先に合計 631.7 千尾を生産・放流した。(県委託事業)

	実績	計画
1. 水田放流(20mm 種苗流下数)	25.4mm 10,108 千尾	20.0mm 8,000 千尾
2. 大型種苗生産放流	21.7g 863 千尾	20.0g 900 千尾
3. 大型種苗購入放流	15.0g 100 千尾	20.0g 75 千尾
4. 標識調査(混獲率(調査尾数)) 北湖漁獲物	32.2% (1,033 尾)	
5. 放流用種苗の生産	1,184 千尾	1,225 千尾
6. 試験研究用標識種苗生産放流	631.7 千尾	600 千尾

(2) ホンモロコ増殖事業

ホンモロコ資源の回復を図るため、以下を行った。

- 琵琶湖ヨシ帯にふ化仔魚 749 千尾、水田にふ化仔魚 200 千尾、合計 949 千尾を放流した。（独自事業）
- 各種団体の放流用種苗 110 千尾を生産した。（独自事業）

	実績		計画
1. 琵琶湖ヨシ帯・水田放流	5.0mm	949 千尾	5.0mm 1,000 千尾
2. 放流用種苗の生産	5.0mm	110 千尾	—

(3) 人工河川管理運用事業（県受託事業）

アユ資源の維持、培養を図るため、以下を行った。

- アユ仔魚の流下ピークを1週間程度遅らせるとともに流下時期の分散化を図るため、9月上旬から9月中旬にかけて養成親魚 16 トンを滋賀県淡水養殖漁業協同組合から購入し、安曇川人工河川に放流した。併せて安曇川人工河川河口部に集まる天然親魚 1.6 トンを安曇川人工河川に汲み上げて放流した。
- 姉川が渇水のため、姉川人工河川河口部に集まる天然親魚を汲み上げるにより、9月下旬に天然親魚 4 トンを姉川人工河川に放流した。

	実績	計画（当初）
1. 養成親魚放流	16 トン	16 トン（8 トン）
2. 天然親魚放流	5.6 トン	4.5 トン（4.5 トン）

*R7 年度の流下ふ化仔魚尾数 50.2 億尾

(4) セタシジミ増殖事業

平成 29 年度から休止中

(5) 湖づくり活動支援事業

固有在来魚類の資源回復を図り、適度な水草や多様なプランクトンにより育まれる豊かな琵琶湖の生態系を保全するため以下を行った。

・ワタカ

令和 6 年度から休止中

・ゲンゴロウブナ

1. 漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（環境保全型魚類の放流〈アオコ抑制〉）で行った種苗の放流効果を把握するため、漁獲魚の標識調査を行った。（受託事業）
2. 民間団体の放流用種苗を 120 千尾生産提供した。（独自事業）

	実績	計画
1. 標識調査（混獲率(調査尾数)）	0% (29 尾)	
2. 放流用種苗の生産提供（ふ化仔魚）	120 千尾	100千尾

(6) 産卵繁殖場保全事業

滋賀県が整備した産卵繁殖場および自然のままの産卵繁殖場を保全管理することで、琵琶湖の生態系の維持、保全を図るため、以下を行った。

1. 沿岸漁業整備開発事業により設置された増殖場(21 箇所)について、施設の機能維持と湖上事故防止のため、施設の破損や集魚状況等の確認、標識灯太陽電池パネルの清掃、雑木の伐採や支障物の撤去等を行った。（県受託事業）
2. 水産業および漁村の有する多面的機能の発揮に資する活動を推進することを目的として設置された協議会の運営経費の管理を行うとともに活動組織への交付金を交付した。（受託事業）
3. 琵琶湖の産卵繁殖場においてニゴロブナ、ホンモロコの再生産を促し、資源の維持、増殖を図るため、沿岸の産卵繁殖場、ゆりかご水田水域において仔稚魚の生育状況調査や、ニゴロブナが遡上する排水路内に産卵基体を設置採卵し、一部を水田に収容して育成する試験を行った。（独自事業）

	実績	計画
1. 沿整増殖場等管理点検	21 箇所	21 箇所
2. 水産多面的機能発揮対策協議会	会計事務の受託	会計事務の受託
3. 産卵繁殖場の調査	6 地区※	7 地区

※場所：長浜市、彦根市、東近江市、野洲市、草津市、高島市

(7) 水産加工業振興対策事業（独自事業）

加工業の振興発展と経営の安定化に資するため、水産加工業者が原材料の安定的な確保、新製品の開発、普及宣伝活動等を行うための活性化資金を貸付けた。

1. 「水産加工業振興対策資産」2 億円を滋賀県水産加工業協同組合に貸し付けた。
（貸付期間 令和 7 年 10 月～令和 9 年 3 月まで）

	実績	計画
水産加工業協同組合資金貸付額（利率）	2 億円（利率 0.025%）	2 億円（利率 0.025%）

(8) 情報提供事業（独自事業）

協会の活動を広く一般に周知し、漁業者に栽培漁業の普及啓発を行うため、以下を行った。

1. 「協会ニュース」を発行し、放流事業結果を公開した。
2. インターネット上のホームページにおいて、放流事業結果、事業計画、決算内容等を公開した。

<http://www.ex.biwa.ne.jp/~fishlake>

	実績	計画
1. 協会ニュース発行	100 部	150 部
2. ホームページ	随時更新	随時更新

令和7年度 事業結果の附属明細

1 ニゴロブナ

表1 ニゴロブナの放流結果

放流群	放流月	放流場所	放流魚		標識魚	
			尾数（千尾）	体型	尾数（千尾）	体型
水田放流	令和7年6～7月	琵琶湖一円	10,108	25.4mm	3,318	25.4mm
生残率解明試験放流						
	令和7年7月	牧地先	227.3	0.32 g	227.3	0.32 g
	令和7年6月	赤野井地先	198.3	0.30 g	198.3	0.30 g
	令和7年7月	延勝寺地先	206.1	0.69 g	206.1	0.69 g
大型種苗						
	令和7年10～12月	南湖	297.7	18.9 g		
	令和7年10～12月	北湖	565.6	23.2 g	109.2*	27.2 g
	令和7年10月（購入）	北湖	99.9	15.0 g		
	小計		963.2	21.0 g		

* ; R1orDot-近接2重リング

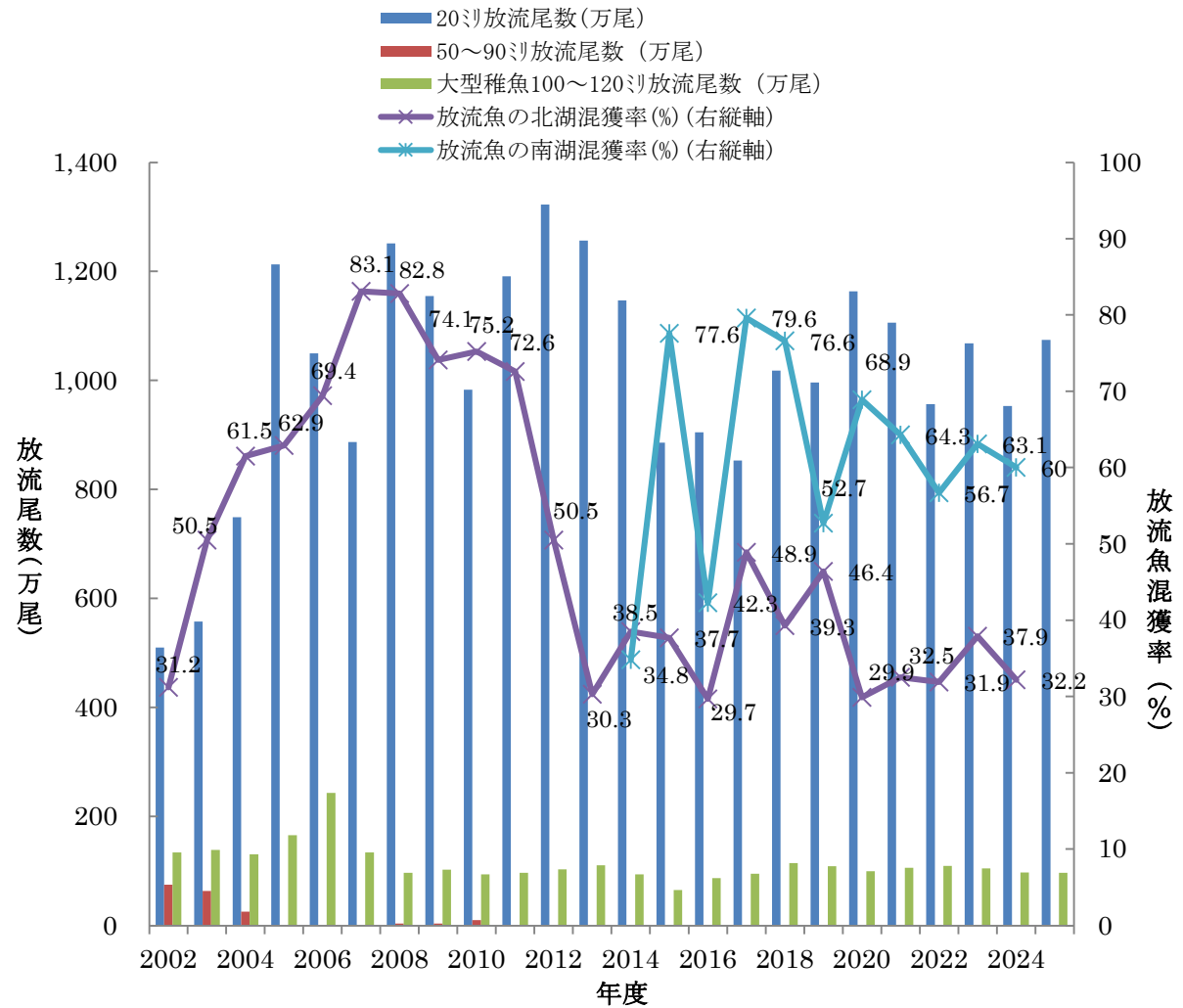
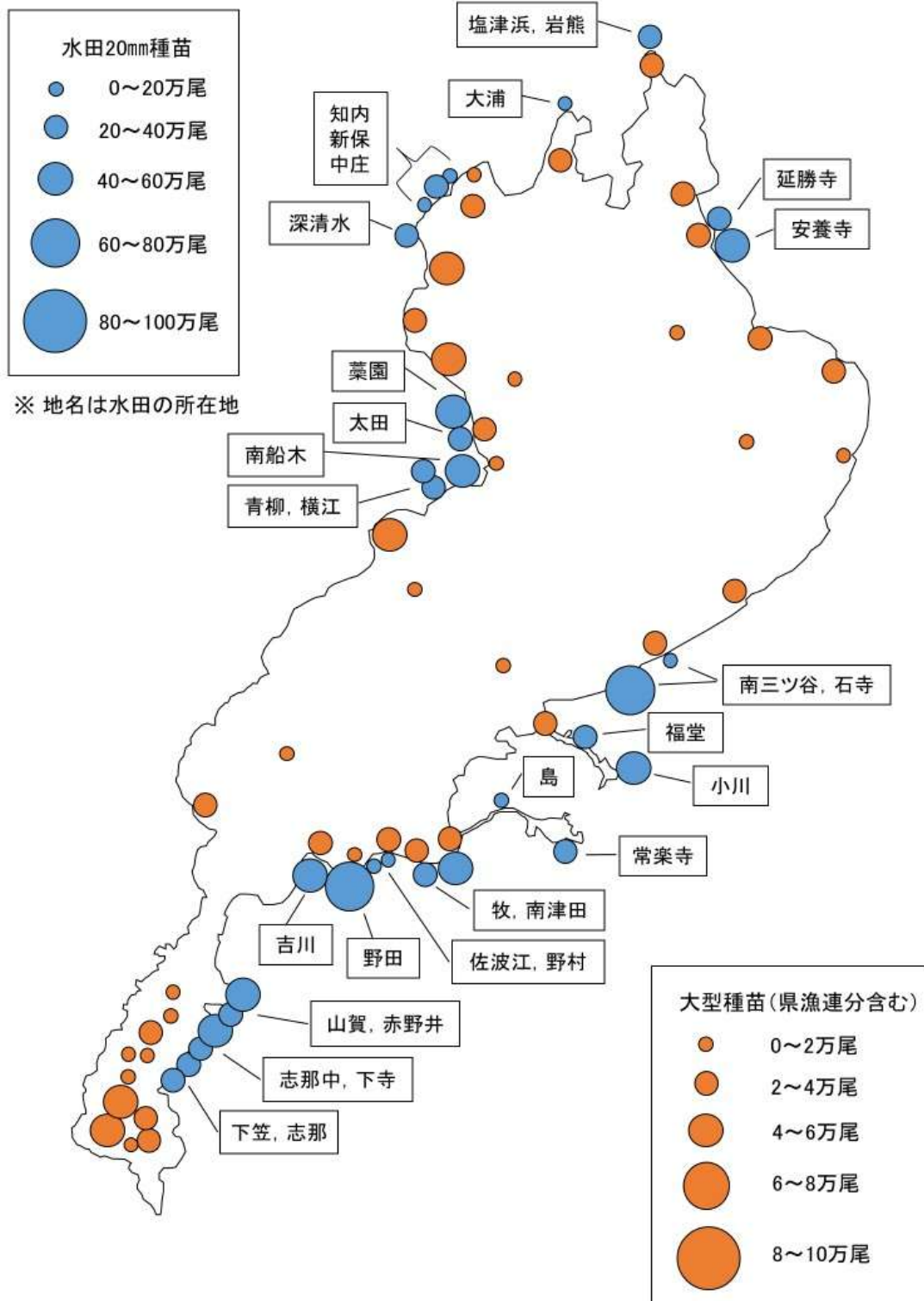


図1 ニゴロブナの年度別放流尾数(万尾)及び放流魚混獲率(%)の推移

令和7年度 ニゴロブナ放流場所・放流尾数



2 ホンモロコ

表2 ホンモロコの放流結果

放流群	放流月	放流場所	放流魚	
			尾数(千尾)	体型
自主放流	5月	琵琶湖周辺水田およびヨシ帯	949	5.0mm

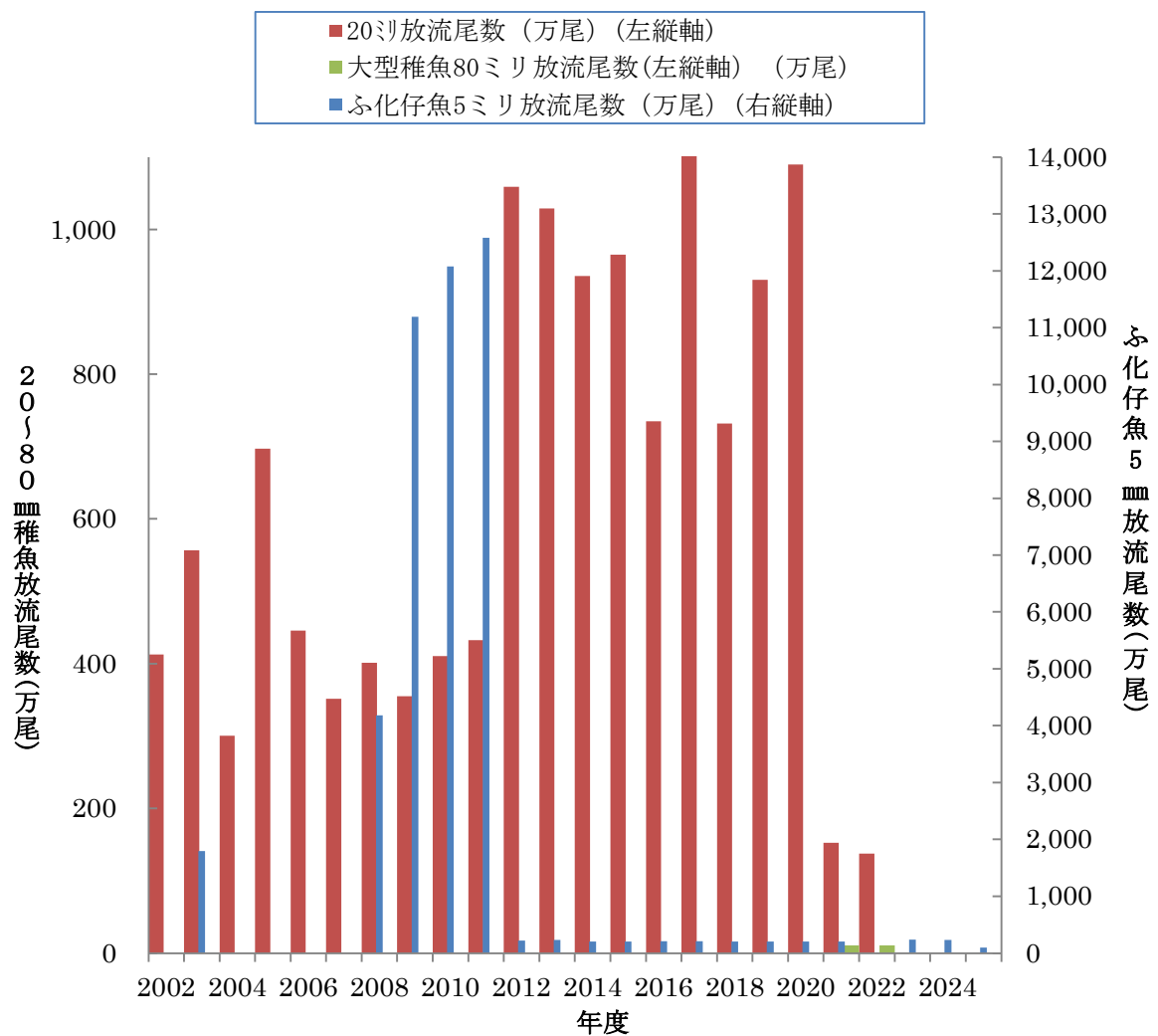


図2 ホンモロコの年度別放流尾数(万尾)の推移

3 アユ

表3 養成アユ親魚の放流結果(安曇川人工河川)

放流日	重量 (kg)	尾数 (千尾)	個体重 (g)	熟度* (%)	雌比 (%)	放流区画
9/5	1,700	37.6	45.2	17.6	50.8	1,2区
9/6	1,100	27.0	40.7	18.0	52.6	2区
9/6	1,350	53.8	25.1	17.8	56.2	3区
9/7	1,700	52.5	32.4	18.7	52.6	4,5区
9/9	1,100	27.6	39.8	23.1	44.1	5区
9/10	1,100	21.1	52.2	17.2	52.2	6区
9/10	1,200	38.8	30.9	19.2	54.5	6,7区
9/11	1,300	25.7	50.5	19.3	50.9	8区
9/12	1,250	53.9	23.2	19.8	51.7	7,9区
9/14	1,500	48.4	31.0	20.1	54.8	9,10区
9/16	1,500	29.0	51.7	20.7	53.4	11,12区
9/16	1,200	23.1	51.9	18.9	48.4	12区
合計	16,000	438.6	36.5	19.1	52.4	

* 雌親魚の生殖腺重量比

表4 天然アユ親魚の放流結果(人工河川河口からの汲み上げ放流)

放流日	重量 (kg)	尾数 (千尾)	個体重 (g)	熟度* (%)	雌比 (%)	放流区画
9/9-9/17	1,600	112.7	14.2	18.7	43.0	安曇川人工河川 13区
9/17-9/26	4,000	388.3	10.3	22.8	46.9	姉川人工河川 1-4区
合計	5,600	501.0	11.2	21.9	46.0	

* 雌親魚の生殖腺重量比

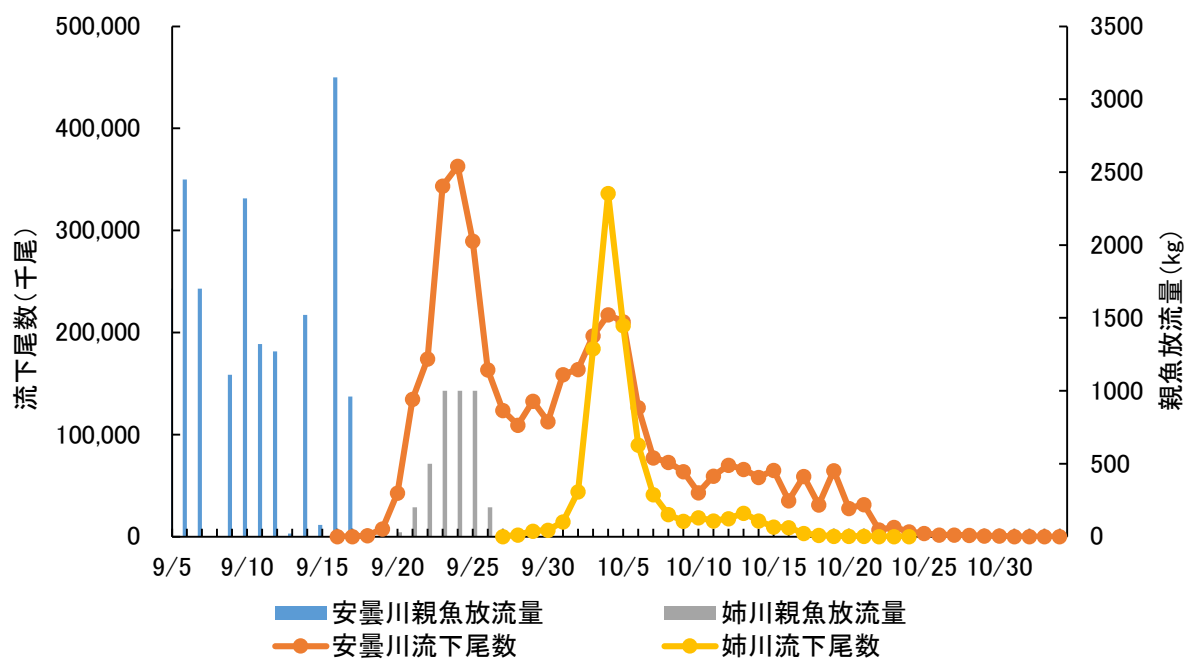


図3. 人工河川流下ふ化仔魚数の推移

表5 流下ふ化仔魚数調査結果

場所	親魚区分	親魚放流量 (kg)	雌親魚量* ¹ (kg)	流下仔魚数 (百万尾)	流下率* ² (%)	
					本年度	平年値* ³
安曇川人工河川	養成・天然親魚	17,600	8,800	3,933	44.7	44.3
姉川人工河川	天然親魚	4,000	2,000	1,084	54.2	32.0
計		21,600	10,800	5,017	46.4	41.9

*1 雌重量比50%とする

*2 流下仔魚数／雌親魚の推定抱卵数(g体重当り1,000粒とする)

*3 過去10年間の平均値(2018年を除く)

2. 事業経過報告

(1) 理事会・評議員会

年月日	事 項
R7. 4.1	第1回理事会を開催（決議の省略） 【決議事項】 1. 理事長の選出の件 (承認)
5.27	第2回理事会を開催 於：(公財) 滋賀県水産振興協会 【決議事項】 1. 令和6年度事業報告および決算の承認の件 (承認) 2. 第14回定時評議員会の招集の件 (承認) 日時：令和6年6月12日（木）14:00～ 場所：公益財団法人滋賀県水産振興協会会議室 議題：(1)令和6年度事業報告の件 (2)令和6年度決算の承認の件 報告事項：令和7年度事業計画および収支予算について 第Ⅲ次中期経営計画の進捗状況について 【報告事項】 職務の執行状況について
6.12	第14回定時評議員会を開催 於：(公財) 滋賀県水産振興協会 【決議事項】 1. 令和6年度事業報告の件 (報告) 2. 令和6年度決算の承認の件 (承認) 【報告事項】 令和7年度事業計画および収支予算について 第Ⅲ次中期経営計画の進捗状況について
6.27	第3回理事会を開催（決議の省略） 【決議事項】 1. 令和7年度第1回評議員会の招集の件 (承認)
6.27	第1回評議員会を開催（決議の省略） 【決議事項】 1. 理事の選任の件 (承認)
R8. 3.27	第4回理事会を開催 於：(公財) 滋賀県水産振興協会 【決議事項】 1. 令和8年度事業計画書および収支予算書等の承認の件 (承認) 2. 令和8年度役員報酬額の承認の件 (承認) 3. 評議員会の招集の件 (承認) 【協議事項】 1. 役員等候補者選出委員会について (承認) 【報告事項】 1. 第Ⅲ次中期経営計画の進捗状況について 2. 職務執行状況について 3. その他

(2) 諸会議研修への出席関係

年月日	事 項	場 所
R7. 4.7	県水産加工組合理事会（常任理事）	大津市
4.24	栽培担当者会議（水産課・水試・漁連・協会）	協会
6.13	県資源管理協議会監査（常任理事）	協会
6.26	県淡水養殖組合総会（常任理事）	草津市
6.27	県漁連総会（常任理事）	水産会館
7.11	県資源管理協議会総会（常任理事）	水産会館
9.3	滋賀びわ湖漁協臨時資格審査会（常任理事）	水産会館
9.25	県資源管理協議会第1回定例会（常任理事）	水産会館
11.11	令和7年度農林漁業関係団体人権研修会（職員）	南部合同庁舎
11.17	滋賀銀行寄付金贈呈式（理事長他）	県知事公館
12.6	滋賀銀行「ニゴロブナ放流式」（理事長他）	西の湖
R7. 12.23	令和7年度漁業関係団体人権研修会（職員）	県庁東館
R8. 1.7	県資源管理協議会第2回定例会（常任理事）	水産会館
2.13	TKC 公益研特別セミナー TKC 開催（職員）	大阪市
2.19	滋賀びわ湖漁協資格審査委員会（常任理事）	水産会館
3.5	令和6年度水産談話会（職員）	水産試験場
3.5	公益法人会計セミナー 満喜（株）開催（職員）	大阪市
3.10	令和7年度琵琶湖地区における資源管理協議会代表者会議（職員）	大津市
3.12	県資源管理協議会第3回定例会（常任理事）	水産会館
3.26	令和7年度水産業団体人権問題啓発推進研修会（職員）	Web

(3) 認可・許可・承認・届出関係

年月日	事 項	適 要
R7 4.1	令和7年度法人市民税減免申請書提出	草津市長
4.15	令和7年度法人市民税減免決定通知書	草津市長
5.13	変更届出書類提出（理事長の変更）	滋賀県知事

年月日	事 項	適 要
5.31	消費税申告書の提出 (R4.4.1～R5.3.31)	草津税務署長
5.31	消費税申告書の確定	草津税務署長
6.30	定期提出書類提出 (令和 6 年度事業報告書等)	滋賀県知事
8.20	変更届出書類提出 (理事の変更)	滋賀県知事
R8. 1.15	草津市償却資産非課税申告書令和 7 年度分	草津市長
2.24	草津市償却資産非課税申告書令和 8 年度分	草津市長
3.31	定期提出書類提出 (令和 8 年度事業計画等)	滋賀県知事

(4) 登記関係

年月日	事 項
R7. 4.16	理事長の変更登記
R7. 8.4	理事の変更登記

(5) 検査・監査関係

年月日	事 項
R7 5.19	監事会 (令和 6 度分)
R8 1.20	草津市届出設備・環境事故対応等の事業所立入調査

3. 組織の現況と執行体制

(1) 役員（令和8年3月31日現在）

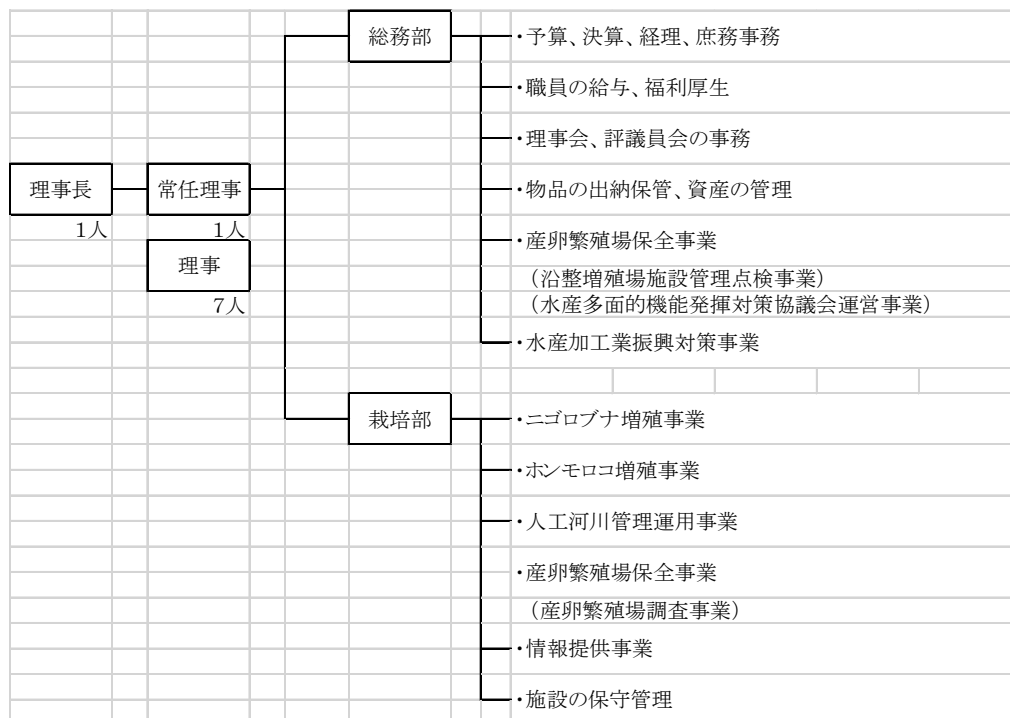
役 職	定 数	現在員数
理事長	1	1
常任理事	1	1
理事	5～10*	7
監事	2～4	3
評議員	5～10	9
計		21

*理事定数は理事長・常任理事を含めて5名以上10名以内

(2) 職員（令和8年3月31日現在）

職 員	員 数	備 考
部長	1	技術
次長	1	技術
技師	1	技術
嘱託	1	技術
嘱託	2	事務
計	6	

(3) 組織体制および所轄事業（令和8年3月31日）



4. 運営体制の充実を図るための取り組み

(1) 公益法人内部における規範・規定の整備

以下の各規程の制定・整備を法人設立以降に行ってきた。

定款(H28.6.24)
事務局組織規程(H24.6.1)
事務局公印規程(H24.4.1)
庶務規程(H24.6.1)
役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規定(H24.4.1)
会計規程(H24.12.1)
資金運用規定(H25.3.27)
就業規程(H26.4.1)
職員給与規程(H26.4.1)
旅費規程(H24.6.1)
職員退職給与規程(H26.4.1)
職員育児休業規程(H24.6.1)
職員介護休業規程(H24.6.1)
有期雇用職員就業規則(H28.3.28)
情報公開規程(H24.6.1)
魚類および種卵販売規定(H25.4.1)
特定個人情報取扱規定(H28.3.28)
役員等候補選出委員会規則(H28.4.1)
文書管理規定(R3.4.1)

(2) 事業の効果的な改善に向けた取組

① 中期経営計画の策定

経営資源を最大限に生かし、効率的な種苗生産と放流によって琵琶湖の水産資源の増殖を図るため中期経営計画を策定し、協会の運営と事業の実施を行っている。現在は平成31年度から令和8年度を計画期間として第Ⅲ次中期経営計画のもと運営・事業を行っている。

② 事業の効果測定

ニゴロブナの種苗放流効果の把握のため、種苗の一部に標識を付け放流し、漁獲されたニゴロブナについて標識種苗がどの程度含まれているかを毎年調査している。その結果の最近5年間は下表のとおり。漁獲魚のおおよそ3割ほどが放流種苗となっており、安定した放流効果がある。

調査年	R3	R4	R5	R6	R7
割合 (%)	29.9	32.5	31.9	37.9	32.2

貸借対照表

令和 8年 3月31日現在

(単価：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金 預金	8,836,748	4,552,925	4,283,823
未収金	3,079,200	2,563,550	515,650
流動資産合計	11,915,948	7,116,475	4,799,473
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	11,000,000	11,000,000	0
基本財産合計	11,000,000	11,000,000	0
(2) 特定資産			
温水魚資源対策積立資産	675,739,879	704,723,879	-28,984,000
水産加工業振興対策積立資産	200,000,000	200,000,000	0
鮎資源対策積立資産	10,000,000	10,000,000	0
退職給付引当資産	22,552,810	20,321,915	2,230,895
特定資産合計	908,292,689	935,045,794	-26,753,105
(3) その他固定資産			
建物	243,986,375	243,986,375	0
構築物	321,936,405	321,936,405	0
車両運搬具	2,919,624	2,919,624	0
什器備品	107,458,483	107,060,283	398,200
船舶	7,700,000	7,700,000	0
減価償却累計額	-641,899,166	-633,888,823	-8,010,343
電 話 加 入 権	257,227	257,227	0
その他固定資産合計	42,358,948	49,971,091	-7,612,143
固定資産合計	961,651,637	996,016,885	-34,365,248
資産合計	973,567,585	1,003,133,360	-29,565,775
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,711,776	3,599,210	2,112,566
預り金	466,678	421,592	45,086
賞与引当金	2,020,353	2,090,494	-70,141
流動負債合計	8,198,807	6,111,296	2,087,511
2. 固定負債			
退職給付引当金	22,552,810	20,321,915	2,230,895
固定負債合計	22,552,810	20,321,915	2,230,895
負債合計	30,751,617	26,433,211	4,318,406
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	896,739,879	925,723,879	-28,984,000
(うち基本財産への充当額)	11,000,000	11,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	885,739,879	914,723,879	-28,984,000
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	46,076,089	50,976,270	-4,900,181
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	942,815,968	976,700,149	-33,884,181
負債及び正味財産合計	973,567,585	1,003,133,360	-29,565,775

正味財産増減計算書内訳表

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[24,200]	[24,200]	[48,400]
基本財産受取利息	24,200	24,200	48,400
特定資産運用益	[3,540,638]	[2,687,174]	[6,227,812]
特定資産受取利息	3,540,638	2,687,174	6,227,812
受取補助金	[27,926,000]	[0]	[27,926,000]
ニゴロブナ栽培漁業推進事業費補助金(県)	27,926,000		27,926,000
受取受託費	[63,161,500]	[0]	[63,161,500]
ニゴロブナ赤野井種苗放流事業受託費	0		0
人工河川管理運用事業受託費	54,632,000		54,632,000
種苗放流に係るモニタリング調査業務受託費	200,000		200,000
沿整増殖場管理点検事業受託費	3,899,500		3,899,500
水産多面的機能発揮協議会運営事業受託費	1,000,000		1,000,000
ニゴロブナ生存率向上条件解明試験魚生産放流事業受託費	3,430,000		3,430,000
受取負担金	[3,000,000]	[0]	[3,000,000]
受取分担金	3,000,000		3,000,000
受取寄付金	[30,084,000]	[0]	[30,084,000]
受取寄付金	1,100,000		1,100,000
受取寄付金振替額	28,984,000		28,984,000
雑収益	[2,108,397]	[0]	[2,108,397]
受取利息	29,035		29,035
雑収益	2,079,362		2,079,362
経常収益計	129,844,735	2,711,374	132,556,109
(2) 経常費用			
事業費	[134,744,916]	[0]	[134,744,916]
役員報酬	3,247,200		3,247,200
給料手当	25,938,308		25,938,308
臨時雇賃金	5,205,194		5,205,194
福利厚生費	5,767,435		5,767,435
旅費交通費	137,525		137,525
通信費	300,899		300,899
原材料費	41,798,531		41,798,531
消耗品費	2,756,577		2,756,577
秋稚魚購入費	3,000,000		3,000,000
修繕費	5,784,359		5,784,359
印刷製本費	33,580		33,580
燃料費	1,110,774		1,110,774
光熱水料費	12,565,835		12,565,835
賃借料	1,865,991		1,865,991
保険料	636,601		636,601
租税公課	181,600		181,600
支払負担金	2,445,281		2,445,281
手数料	102,950		102,950
委託費	8,496,892		8,496,892
衛生費	42,396		42,396
消費税	1,227,874		1,227,874
退職給付費用	2,179,585		2,179,585
賞与当金繰入額	1,973,885		1,973,885
減価償却費	7,945,644		7,945,644

科 目					公益目的会計	法人会計	合 計
管	理	費			[0]	[2,711,374]	[2,711,374]
役	員	報	酬			941,800	941,800
給	料	手	当			602,648	602,648
福	利	生	費			40,179	40,179
会	厚	議	費			10,685	10,685
交	際		費			0	0
旅	費	交	通			85,745	85,745
通	信	運	搬			24,593	24,593
消	耗	品	費			12,141	12,141
修		繕	費			0	0
印	刷	製	本			1,730	1,730
燃		料	費			0	0
光	熱	水	料			9,160	9,160
賃		借	料			751	751
保		險	料			788	788
租	税	公	課			4,700	4,700
支	払	負	担			275,995	275,995
手		数	料			3,985	3,985
嘱		託	料			487,300	487,300
委		託	費			21,639	21,639
衛		生	費			2,184	2,184
雑			費			22,874	22,874
退	職	給	付	費		51,310	51,310
賞	与	引	当	金	繰	入	46,468
減	価	償	却	費		64,699	64,699
經常費用計					134,744,916	2,711,374	137,456,290
評価損益等調整前当期經常増減額					-4,900,181	0	-4,900,181
評価損益等計					0		
当期經常増減額					-4,900,181	0	-4,900,181
2. 經常外増減の部							
(1) 經常外収益							
經常外収益計					0	0	0
(2) 經常外費用							
固定資産除却損					0	0	0
經常外費用計					0	0	0
当期經常外増減額					0	0	0
当期一般正味財産増減額					-4,900,181	0	-4,900,181
一般正味財産期首残高					50,976,270	0	50,976,270
一般正味財産期末残高					46,076,089	0	46,076,089
II 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額					-28,984,000		-28,984,000
当期指定正味財産増減額					-28,984,000		-28,984,000
指定正味財産期首残高					925,723,879	0	925,723,879
指定正味財産期末残高					896,739,879	0	896,739,879
III 正味財産期末残高					942,815,968	0	942,815,968

財産目録

令和8年 3月31日現在

公益財団法人 滋賀県水産振興協会

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	(単位:円) 金 額
(流動資産)	現金		手元保管	運転資金として	37,178
	普通預金		滋賀銀行下笠代理店	運転資金として	8,013,674
			京都信用金庫草津市店	運転資金として	211,396
			大和ネクスト銀行	運転資金として	574,500
				〈現金・預金計〉	8,836,748
	未収金	滋賀県からの受託業務未収入金	滋賀県農政水産部水産課	公益目的事業 ニゴロブナ生存率向上 条件解明試験魚生産放流事業	280,000
	滋賀県からの受託業務未収入金	〃	公益目的事業 滋賀県人工河川管理 運用事業受託費	1,472,000	
	滋賀県からの受託業務未収入金	〃	公益目的事業 沿整増殖場管理点検 事業受託費	327,200	
	水産多面的機能発揮対策協議会からの受託業務未 収入金	滋賀県水産多面的機能発揮 協議会	公益目的事業 水産多面的機能発揮 対策協議会運営費事業受託費	1,000,000	
			〈未収金計〉	3,079,200	
流動資産合計					11,915,948
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	投資有価証券	公益目的事業および管理運営の保有 基本財産の運用益は公益目的事業 費および管理費に使用している。	10,000,000
		滋賀県令和7年度第1回公募公債	野村證券(株)京都支店	50%を公益目的事業費、50%を管理費 に充てている。	1,000,000
		滋賀県平成28年度第2回公募公債	野村證券(株)京都支店	〈基本財産計〉	11,000,000
特定資産	温水魚資源対策 積立資産	第18回NTTファイナンス(NTT保証付き)	SMBC 日興証券(株)京都支店	温水魚資源対策積立資産は指定寄附 資金として満期保有目的で保有し、運 用益は公益目的事業費および管理費 に使用している。	675,739,879 (100,000,000)
		滋賀県令和3年度第1回公募公債	野村證券(株)京都支店	〃	(100,000,000)
		三井住友トラストホールディングス無担保債	大和証券(株)京都支店	〃	(99,632,835)
		第430回大阪府公募公債	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	〃	(68,527,740)
		第26回三菱UFJファナショナルグループ社債	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株) 京都支店	〃	(100,000,000)
		第38回三菱UFJファナショナルグループ社債	〃	〃	(100,000,000)
		第157回共同発行市場公募地方債	〃	〃	(49,776,479)
		大口定期 1口	大和ネクスト銀行	〃	(10,000,000)
		大口定期 1口	京都信用金庫草津支店	〃	(40,000,000)
		決済用普通預金	滋賀銀行下笠代理店	〃	(7,802,825)
		水産加工業対策 積立資産	水産加工業活性化資金 貸付金	滋賀県水産加工業協同組合	水産加工振興対策積立資産は指定寄 附資金として保有し、水産加工業振興 対策事業の資金として使用している。
	鮎資源対策 積立資産	滋賀県令和7年度第1回公募公債	野村證券(株)大津支店	鮎資源対策積立資産は指定寄附資金 として満期保有目的で保有し、運用益 は公益目的事業費に使用している。	10,000,000 (10,000,000)
その他 固定資産	退職給付引当 資産	普通預金	滋賀銀行下笠代理店	退職給付引当資産は職員の退職給与 金の財源として管理している。。	22,552,810 (12,552,810)
		島根県令和5年度第3回公募公債	野村證券(株)京都支店	〈特定資産計〉	908,292,689
	建物	栽培漁業センター・管理棟	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産で、公益目的事業 および管理業務に使用している。	243,986,375 (88,750,000)
		栽培漁業センター・生産棟・揚水機場	〃	使用割合により、97%を公益目的事 業、3%を管理業務に使用している	
		栽培漁業センター・生産棟・揚水機場	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事 業に使用している。	(153,000,000)
		栽培漁業センター・車庫・倉庫	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事 業に使用している。	(2,236,375)
	減価償却累計額			-213,178,341	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
	構築物			
		栽培漁業センター・取水施設	〃	321,936,405 (21,000,000)
		栽培漁業センター・養成池	〃	(156,879,705)
		栽培漁業センター・給排水施設等	〃	(58,646,300)
		筏 29基	草津市北山田町地先	(85,410,400)
	減価償却累計額			-313,749,399
	車両運搬具			2,919,624
		フォークリフト1台 自動車3台	草津市志那町字柿根1393-2 長浜市南浜町	
	減価償却累計額			-2,919,620
	什器備品			107,458,483 (6,758,000)
		管理棟内備品	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産で、公益目的事業および管理業務に使用している。 使用割合により、97%を公益目的事業、3%を管理業務としている。
		生産棟内備品	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		揚水機(付帯設備含む)	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		ふ化水槽 10槽 ステンレス製水槽枠 1個	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		コンプレッサー 2台	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		ジェットウォッシャー 1台	草津市志那町字柿根1393-2 草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		圧力式循環濾過器 24台	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		船外機 1台	草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		冷却機 5台	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		自家発電機 6台	草津市志那町字柿根1393-2 草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		活魚移送ポンプ	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		魚計量装置	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		アルテミア孵化水槽	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		工業用ミシン	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		デスクトップパソコン	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		生産棟エアコン	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
		公益財団法人会計ソフト	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
	減価償却累計額			-104,351,808
	船舶			7,700,000 (7,700,000)
		作業船4隻	草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。
	減価償却累計額			-7,699,998

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金 額
	電話加入権	電話3回線 安曇川人工河川 姉川人工河川 栽培漁業センター	高島市安曇川町北船木 長浜市南浜町 草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。 公益目的保有財産で、公益目的事業および管理業務に使用している。 使用割合により、97%を公益目的事業、3%を管理業務に使用している。	257,227 (171,022) (86,205)
固定資産合計					42,358,948
資産合計					961,651,637
(流動負債)					973,567,585
	未払金	沿整増殖場管理点検事業（委託費） 〃 （振込手数料） 沿整増殖場管理点検事業 南津田増殖場施設支障物撤去処分事業（委託費） 〃 （振込手数料） 栽培センター電気代 栽培センター水道代 3月分生産補助員賃金（生産補助員） 3月分出張旅費（ETC） 委託事業用事務用品 軽トラック・軽バン車検一式（2台）点検（1台） 姉川人工河川ポンプ点検 安曇川人工河川水路内クラック補修 安曇川人工河川タイヤドーザー法定検査 栽培センターフォークリフトオイル漏れ修理 草津市勤労者福祉サービスセンター互助会費 社会保険料（3月分） 消費税	滋賀びわ湖漁業協同組合他12漁協 滋賀銀行下笠代理店 滋賀びわ湖漁業協同組合 近江八幡支所 滋賀銀行下笠代理店 関西電力㈱ 草津市上下水道課 嘱託職員 ㈱滋賀ディーシーカード ゼットツーエ ブラザー商会 滋賀工業 滋賀工業 近江ユニキャリア コマツカスタマーサポート 草津勤労者福祉サービスセンター 草津年金事務所 草津税務署	公益目的事業に係る未払金 公益目的事業に係る未払金 公益目的事業および管理業務に係る未払金 公益目的事業および管理業務に係る未払金 公益目的事業に係る未払金 公益目的事業に係る未払金 公益目的事業に係る未払金 公益目的事業に係る未払金 公益目的事業に係る未払金 公益目的事業に係る未払金 公益目的事業に係る未払金 公益目的事業に係る未払金 公益目的事業に係る未払金 公益目的事業に係る未払金 公益目的事業に係る納税未払金	603,200 6,435 2,187,900 440 275,160 4,697 178,588 800 65,048 201,125 550,000 60,500 418,000 148,731 1,250 325,028 684,874
		<未払金計>			5,711,776
	預り金	社会保険料（3月分） 所得税・住民税 草津市勤労者福祉サービスセンター互助会費	役職員 職員	社会保険料 所得税 住民税 草津市勤労者福祉サービスセンター互助会費 <預り金計>	317,108 148,070 1,500 466,678
	賞与引当金		職員	公益目的事業および管理業務として職員の賞与支給に備える引当金	2,020,353
流動負債合計					8,198,807
(固定負債)	退職給付引当金		職員	公益目的事業および管理業務に従事する職員の退職引当金である。	22,552,810
		<退職給付引当金計>			22,552,810
固定負債合計					22,552,810
負債合計					30,751,617
正味財産					942,815,968

財務諸表に対する注記事項

1. 重要な会計方針
公益法人会計基準（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会）を採用している。
 - 1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
満期保有目的の債券は、購入時の取得価額によっている。
 - 2) 固定資産の減価償却について
減価償却の表示は定額法による間接法である。
 - 3) リース取引の処理方法について
通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を適用している。
 - 4) 引当金の計上基準について
 1. 退職給付引当金は職員に対する退職金に備えるため、計上基準は当協会の規定に基づく当期末の要支給総額とした。
 2. 賞与引当金は職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
 - 5) 消費税等の会計処理について
消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高
基本財産及び特定資産の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
基 本 財 産				
地 方 債	11,000,000	0	0	11,000,000
小 計	11,000,000	0	0	11,000,000
特 定 資 産				
温水魚資源対策積立資産	704,723,879		28,984,000	675,739,879
水産加工業振興対策積立資産	200,000,000	0	0	200,000,000
鮎資源対策積立資産	10,000,000	0	0	10,000,000
退職給付引当資産	20,321,915	2,230,895	0	22,552,810
小 計	935,045,794	2,230,895	28,984,000	908,292,689
合 計	946,045,794	2,230,895	28,984,000	919,292,689

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対 応 す る 額)
基 本 財 産	11,000,000	11,000,000	0	0
小 計	11,000,000	11,000,000	0	0
特 定 資 産				
温水魚資源対策積立資産	675,739,879	675,739,879	0	0
水産加工業振興対策積立資産	200,000,000	200,000,000	0	0
鮎資源対策積立資産	10,000,000	10,000,000	0	0
退職給付引当資産	22,552,810	0	0	22,552,810
小 計	908,292,689	885,739,879	0	22,552,810
合 計	919,292,689	896,739,879	0	22,552,810

4. 基本財産及び特定資産の出資元別内訳
基本財産及び特定資産の出資別内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高	出資元別当期末残高		
		県	県漁連	その他
基 本 財 産	11,000,000		10,000,000	1,000,000
小 計	11,000,000	0	10,000,000	1,000,000
特 定 資 産				
温水魚資源対策積立資産	675,739,879	598,029,793	77,710,086	0
水産加工業振興対策積立資産	200,000,000	200,000,000	0	0
鮎資源対策積立資産	10,000,000		0	10,000,000
退職給付引当資産	22,552,810	0	0	22,552,810
小 計	908,292,689	798,029,793	77,710,086	32,552,810
合 計	919,292,689	798,029,793	87,710,086	33,552,810

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	243,986,375	213,178,341	30,808,034
構 築 物	321,936,405	313,749,399	8,187,006
車 輜 運 搬 具	2,919,624	2,919,620	4
什 器 備 品	107,458,483	104,351,808	3,106,675
船 舶	7,700,000	7,699,998	2
電 話 加 入 権	257,227	0	257,227
合 計	684,258,114	641,899,166	42,358,948

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
地方債			
滋賀県平成28年度第2回公募公債	1,000,000	993,090	-6,910
滋賀県令和3年度第1回公募公債	100,000,000	89,978,600	-10,021,400
島根県令和5年度第3回公募公債	10,000,000	9,722,890	-277,110
滋賀県令和7年度第1回公募公債	20,000,000	18,861,300	-1,138,700
第430回大阪府公募公債（10年）	68,527,740	68,169,500	-358,240
第157回共同発行市場公募公債	49,776,479	49,979,000	202,521
金融債			
第19回三井住友トラストホールディングス無担保債 期限前償還・劣後免除条項付	99,632,835	97,750,000	-1,882,835
社債			
第18回NTTファイナンス（NTT保証付）	100,000,000	92,390,000	-7,610,000
第26回三菱UFJフィナンシャルグループ 期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	100,000,000	92,593,000	-7,407,000
第38回三菱UFJフィナンシャルグループ 期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	100,000,000	92,654,000	-7,346,000
合 計	648,937,054	613,091,380	-35,845,674

7. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 ニゴロブナ栽培漁業 推進事業補助金	滋賀県	0	27,926,000	27,926,000	0	
合 計		0	27,926,000	27,926,000	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 公益目的事業計上による振替額	28,984,000
合 計	28,984,000

9. 重要な後発事象

該当事項はなし。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資 産 の 種 類	期首帳簿価額	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	期末帳簿価額
基 本 財 産					
	地 方 債	11,000,000	0		11,000,000
	基本財産計	11,000,000	0	0	11,000,000
特 定 資 産					
	温水魚資源対策積立資産	704,723,876		28,984,000	675,739,876
	水産加工業振興対策積立資産	200,000,000	0	0	200,000,000
	鮎資源対策積立資産	10,000,000	0	0	10,000,000
	退職給付引当資産	20,321,915	2,230,895	0	22,552,810
	特定資産計	935,045,791	2,230,895	28,984,000	908,292,686

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当期減少額		期 末 残 高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	20,321,915	2,230,895	0	0	22,552,810
賞 与 引 当 金	2,090,494	2,020,353	2,090,494	0	2,020,353

公益財団法人 滋賀県水産振興協会役員名簿(令和8年6月17日)

任期:令和8年6月17日から令和10年定時評議員会終結の時まで

任期:令和6年6月7日から令和10年定時評議員会終結の時まで

役 職 名	氏 名
理 事 長	東 勝
常 任 理 事	桑 村 邦 彦
理 事	磯 崎 和 仁
〃	酒 井 明 久
〃	澤 田 宣 雄
〃 (外部)	高 木 浩 文
〃	塚 本 千 翔
〃	戸 田 猛
〃	堀 出 正 治
監 事	今 井 博 章
〃	北 脇 芳 和
〃 (外部)	十 二 里 和 彦

役 職 名	氏 名
評 議 員	浦 谷 忠 司
〃	佐 野 高 典
〃	嶋 田 義 晴
〃	谷 市 郎
〃	土 井 典
〃	藤 井 恒 夫
〃	堀 越 昌 子
〃	水 上 恒 宣
〃	山 中 治